

下水道機構の『新技術情報』 第114号

(公財) 日本下水道新技術機構 <http://www.jiwet.or.jp/>

。○。○。○。

「外国人から見た日本」をテーマにしたTV番組で、日本のマンホールふたの写真撮影を趣味にしている外国人の方がいました。「自国ではこんなに美しくバラエティーに富んだマンホールを見たことがない！」のだそうです。足元から世界にPR(^\_^d)グッ!

それでは、機構メールマガジン『新技術情報』第114号をお届けします。

業務に、Tea Breakにどうぞご活用ください。

◆◆◆トピックス◆◆◆

■インフォメーション

- ・技術マニュアル活用講習会（大阪会場 10月25日）を開催しました
- ・新技術現場研修会「砂町水再生センター地域冷暖房事業及び東京都下水道技術実習センター」を開催！参加申込みの締切迫る（11月7日締切）

■機構の動き

- ・今週は、10/30(水)@熊谷市、10/31(木)@糸魚川市 に第1審査証明委員会を開催します

■Tea Break

- ・我が家の通信費の節約方法について（企画部 中村副部長からの投稿です）

■まる子のゆいまーる♪

- ・あるお城がデザインされたマンホールふたです！さて、どこのお城？  
ヒントは、先週開催のマニュアル講習会

■国からの情報

- ・10/25付および10/21付号外下水道ホットインフォメーション

。○。○。

インフォメーション（最新の話題です）

。○。○。

●技術マニュアル活用講習会（大阪会場 10月25日）を開催しました

当機構では、民間企業との共同研究の成果を、地方公共団体やコンサルタント等の実務担当者の皆様が新技術を採用する際の客観的資料としていただくため「技術マニュアル」等として取りまとめています。

今回の講習会は、18日に行われた東京会場開催と同内容のもので、昨年度の研究成果である「津波シミュレーションモデル利活用マニュアル」、「シールド切替型推進工法技術資料」、「鋼板製消化タンク技術マニュアル」、「回転ドラム型濃縮機技術マニュアル」、「エネルギー回収・汚泥減量化技術（レセルシステム）の導入マニュアル」について当機構の研究者が解説いたしました。台風27号が接近する中、開催が危ぶまれましたが、雨の中24名の方が受講されました。

今回説明した技術マニュアル等につきましては、既にCD版で地方自治体等へ配付しています。内容に関する質問や「参考となるマニュアルを探している」「こんな技術マニュアルがほしい」といった要望があれば、当機構までご連絡ください。

●新技術現場研修会「砂町水再生センター地域冷暖房事業及び東京都下水道技術実習センター」を開催！参加申込みの締切迫る（11月7日締切）

11月15日（金）13：10～17：00（受付開始12：30～）に東京都砂町水再生センター内にて新技術現場研修会を開催します。

江東区新砂三丁目地区では、東京都下水道局砂町水再生センターの処理水や污泥焼却炉、炭化炉の廃熱を給湯や冷暖房の熱源として、江東高齢者医療センター等の都の施設に供給・活用しています。これらの下水熱利用に加え太陽熱を利用して廃熱投入型高効率吸収式ヒートポンプと組み合わせた実証プラントも視察し、熱利用に関しての新技術の知見を深めることを目的としています。

また、同砂町水再生センター敷地内に、自治体における人材育成と技術の継承という課題へ対応するため、東京都下水道局の実習施設「下水道技術実習センター」を設け10月に開講したため、実習センターを見学し、東京都の取組事例として知見を深めることを目的としています。

なお、本研修会は東京都下水道局、東京都下水道サービス株式会社及び東京下水道エネルギー株式会社のご協力を得て開催するものです。

対象は、出捐・賛助企業及び公共団体の下水道技術者の方を対象に募集しています。まだ、申込者数に若干の余裕があります。余裕のある限り、11月7日まで募集を行いますので、ご興味のある方はぜひご参加ください。なお、参加費は無料です。

※ご参加を希望される方は、下水道機構のホームページから直接お申し込みください。

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop-at-site/workshop-at-site-info>

---

。○。

機構の動き（機構の行事予定です）

。○。

●平成25年10月30日（水）14：00～17：00

行 事：平成25年度 第2-2回 第1審査証明委員会

場 所：埼玉県熊谷市

議 案：25年度新規申請案件1件の現場試験立会・審議

●平成25年10月31日（木）14：00～17：00

行 事：平成 25 年度 第 2-3 回 第 1 審査証明委員会  
場 所：新潟県糸魚川市  
議 案：25 年度新規申請案件 1 件の現場試験立会・審議

◎平成 25 年 11 月 15 日(金) 13:10~17:00 (受付 12:30~)

行 事：第 62 回 (平成 25 年度第 1 回) 新技術現場研修会  
場 所：東京都下水道局東部第一下水道事務所  
砂町水再生センター内 (東京都江東区新砂 3-9-1)  
対 象：下水道機構の出捐団体・賛助会員及び公共団体等の下水道技術者

※詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/workshop-at-site/workshop-at-site-info>

◎平成 25 年 11 月 22 日(金) 13:30~16:45 【東京会場 (発明会館)】

平成 25 年 11 月 29 日(金) 13:30~16:45 【大阪会場 (大阪科学技術センター)】

行 事：58 回 下水道新技術セミナー  
テーマ：下水道における革新的技術開発の取り組み  
対 象：公共団体、企業等の下水道技術者など

※詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/new-tech-seminar/seminar-info>

◎平成 25 年 11 月 22 日(金) 11:00~12:30 【東京会場 (発明会館)】

平成 25 年 11 月 29 日(金) 11:00~12:30 【大阪会場 (大阪科学技術センター)】

行 事：SM手法を踏まえた長寿命化計画策定に関する手引きの説明会  
参加費：無料 ※ただし当日、手引き (案) を製本したものを準備しておりますので、  
必要な方は申し込みの際にお申し出ください。(印刷製本代として  
1,000 円頂きます。)

※詳細、お申込みはこちら

→ <http://www.jiwet.or.jp/trainings/seminarsp/seminarsp-form>

---

。○○。

Tea Break (機構職員の感じるまま)

。○○。

---

●我が家の通信費の節約方法について (企画部 中村副部長からの投稿です)

先日、東京オリンピックが 2020 年に開催されることが決まりました。家内も私も東京オリンピックの生まれなので、年長者である長男に彼女もいないのに、その年に孫が誕生すれば…と家内は期待しています。我が家には 3 人の子供がいるので、20、18、14 歳の誰かがと…。それより重要なのは我が家の家計。長男は成人しましたがまだ学生で、3 人の子供の学費支出に我が家の家計は火の車です。

そこで、少しでも節約をと、その 1 つを紹介します。携帯電話等のパケット通



ガスは汚泥乾燥のための燃料などとして利用しています。地域バイオマスの受け入れにより、消化ガスの発生量が増加し、重油使用量を減らす効果等が出ています。

また、平成 23 年度には、全国に先駆けて家庭系生ごみを混合処理する施設として循環のみち下水道賞を受賞されています。

★★★★★ 今週のラインナップ ☆☆☆☆☆

○第 2 回 地震・津波に関するシンポジウム～社会資本投資額減少と弱者救済を視野に  
入れた水循環ネットワークのあり方～について【国土技術政策総合研究所】

○「新発田川を愛する会」の取材記事が掲載されました。【北陸地方整備局】

●第 9 回わいがやトーク「タマゾン川の救世主～お魚の目線で見た多摩川のこれまで  
とこれから～」の開催について【G K P】

=====

○第 2 回 地震・津波に関するシンポジウム～社会資本投資額減少と弱者救済を視野  
に  
入れた水循環ネットワークのあり方～について【国土技術政策総合研究所】

土木学会地震工学委員会・水循環ネットワーク災害軽減対策研究小委員会が主催する、  
標記シンポジウムが開催されますのでお知らせします（国土技術政策総合研究所等が  
後援）。下水道研究室からは、「下水道管きよの埋戻し部における耐震対策について」  
を発表します。

「本シンポジウムは、本小委員会委員を中心にして、来るべき大災害に備える技術とは何か、  
現在の私たちの技術的対応は正しいのかを考える有用な話題提供や講演を予定して  
おります。また、冒頭には我が国の水循環社会資本の整備に関わる大先立ちである、  
丹保憲仁先生にご講演を頂き、その上で私たち防災技術者が何をなすべきかを  
考えたいと思います。」（土木学会HPより引用）

・日時：11月26日（火）10：00～17：00

・場所：ヴェルクよこすか6階ホール（横須賀市日ノ出町1-5）

・申込方法：土木学会HPの「本部主催行事参加申込サイト」（下記）よりお申し込み  
ください。

<http://www.jsce.or.jp/event/active/information.asp>

・プログラム等（下記）

<http://committees.jsce.or.jp/eec200/node/9>

○「新発田川を愛する会」の取材記事が掲載されました。【北陸地方整備局】

平成 25 年度の循環のみち下水道賞を受賞した「新発田川を愛する会」の取組みにつ  
いての取材記事が、国土交通省総合政策局の「地域づくり情報局」HPに掲載されま  
したのでお知らせいたします。

<http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/region/chiiki-joho/index.html>

●第 9 回わいがやトーク「タマゾン川の救世主～お魚の目線で見た多摩川のこれまで  
とこれから～」の開催について【G K P】

11 月の G K P（下水道広報プラットフォーム）わいがやトーク（一木会）は、11 月 12  
日（火）、おさかなポストの会代表の山崎充哲氏をお迎えして開催します。山崎さん

は、飼いきれなくなって捨てられる外来種から多摩川を守るため、捨てに来た魚を預かる「おさかなポスト」を立ち上げたことで注目を集める今話題の人物です。「タマゾン川」（外来種で溢れる多摩川のこと）という言葉の生みの親でもあります。

お話しいただくテーマは「タマゾン川の救世主 ～お魚の目線で見えた多摩川のこれまでとこれから～」。ここでいう救世主とは、そう、下水道のことです。

今回は、山崎さんが川とともに暮らす一市民として、あるいは自然環境調査コンサルタントとして、NPO 法人おさかなポストの会の代表として、魚の目線から見た多摩川を語っていただきたいと思います。これまでの多摩川の歴史に何を見て、何を感じ、どんな活動をしてきたのか。また、これからの多摩川に必要なことは何なのか、そこに下水道はどう関わるべきなのかなど、様々な観点からお話をいただき、自由な意見交換を行いたいと考えています。皆さん、ふるってご参加ください。

(GKP わいがやトーク 予定)

・日時：11月12日（火）

※今回は火曜日の開催で、時間もいつもより遅くなっています

講演（18：00～18：50）

講師：山崎充哲氏（NPO 法人おさかなポストの会代表）

演題：「タマゾン川の救世主

～お魚の目線で見えた多摩川のこれまでとこれから～」

質疑応答（18：50～19：00）、懇親会（19：10～20：00）

・会場：日本下水道協会5階会議室

<http://www.gk-p.jp/information.html>

<再掲>

講演会等の開催案内です。既にホットインフォメーションでお知らせしていますが、開催前の講演会等について再掲します。参加申込等については、HP等をご確認ください。

■「東京湾大感謝祭」の開催及び「東京湾再生官民連携フォーラム」の会員募集について【流域管理官】

(11月23日開催)

[http://www.mlit.go.jp/report/press/port06\\_hh\\_000091.html](http://www.mlit.go.jp/report/press/port06_hh_000091.html)

[http://www.wave.or.jp/tbsaisei/2013/tbsaisei\\_20\\_0809.pdf](http://www.wave.or.jp/tbsaisei/2013/tbsaisei_20_0809.pdf)

→9月13日、10月18日掲載

■「SM手法を踏まえた長寿命化計画策定に関する手引きの説明会」の開催について【下水道機構】

(11月22日<東京会場>、11月29日<大阪会場>開催)

<http://www.jiwet.or.jp/trainings/seminarsp>

→10月18日掲載

■「下水道新技術セミナー」の開催について【下水道機構】

(11月22日<東京会場>、11月29日<大阪会場>開催)





宮崎市では、宮崎処理場の消化ガスの更なる有効利用等を図るため、固定価格買取制度（FIT）を活用した消化ガス発電事業を行う事業者を公募中ですので、お知らせします。

●「宮崎処理場」消化ガス売却事業の事業者を公募します【宮崎市】

宮崎市では、市中心部の宮崎処理場における消化ガスの更なる有効利用とコスト削減を図るため、消化ガスの一部を民間事業者へ売却し、固定価格買取制度（FIT）を活用した発電事業を行う事業者を公募します。

民間事業者が自らの資金で新たな発電機を処理場内に設置し、FITを活用した売電を行うことにより、宮崎市は、購入電力が増加するものの、現在運転中の発電機の更新費用や維持管理費の負担が無くなることから、FIT期間（20年間）全体ではコストメリットが得られる見込みです。更に、現在未利用となっている消化ガスの有効利用も図られます。

公募期間は、平成25年10月15日（火）～平成25年10月25日（金）まで。詳しくは、宮崎市上下水道局ホームページをご覧ください。

<http://www.suidou-miyazaki.jp>

---

発行元：公益財団法人 日本下水道新技術機構 企画部  
〒162-0811 東京都新宿区水道町3番1号 水道町ビル 7F  
TEL 03-5228-6511(代表) FAX 03-5228-6512

ホームページ：<http://www.jiwet.or.jp/>

○お伝えたい情報をお持ちの方はこちらから → [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○メルマガ配信登録についてのお問い合わせはこちらから

→ [jiwet@jiwet.or.jp](mailto:jiwet@jiwet.or.jp)

○ニュースレターはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/>

○ニュースレタークイズの答えはこちらから

→ <http://www.jiwet.jp/newsletter/20130403/seikai4.pdf>

---